

Subject : **Japanese**

Production of Courseware
e- Content for Post Graduate Courses

Paper No. 02 : **日本語学 (Japanese Linguistics)**

Module 27 : **話し言葉と書き言葉 (Spoken and Written Language)**



ज्ञान-विज्ञान विमुक्तये



Development Team

Principal Investigator:

Prof. Anita Khanna

Jawaharlal Nehru University, New Delhi

Paper Coordinator:

Prof. Prashant Pardeshi

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Writer:

Prof. Hideki Kishimoto

Kobe University

Content Reviewer:

Prof. Prashant Pardeshi


The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Japanese

Japanese Linguistics

話し言葉と書き言葉 (Spoken and Written Language)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	話し言葉と書き言葉 (Spoken and Written Language)
Module ID	JPN-P02-M27
Quadrant 3	Learn More

 **Pathshala**
पाठशाला
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

話し言葉と書き言葉 (Spoken and Written Language)

Quadrant 3: Learn more

さんこうぶんけん

参考文献

庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘（著）（2000）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク.

久野暉（1978）『談話の文法』大修館書店.

水谷修（編）（1983）『話しことばの表現』筑摩書房.

南不二男（1993）『現代日本語文法の輪郭』大修館書店.

Interesting facts

しゅうじょし なら かた
● 終助詞の並べ方

その場で発話しなければならないことが多い話し言葉は、書き言葉と比べて自由度が高く、あまり厳しい文法規則が課せられないことが多い。しかし、本モジュールで取り扱った終助詞の多くは、もっぱら話し言葉で用いられるものが多いにもかかわらず、その使用には厳密な規則がかかる。

たとえば、話し言葉で頻繁に使用される終助詞の「わ」「よ」「ね」にはそれぞれ違った意味があるので、(1)のように終助詞が文末に複数現れてもよい。

こた あ
(1) その答え、合っているわよね。

これらの終助詞が並べられる順序（相対的な位置）は、厳密に決まっている。終助詞が文末に 3 つ 現れた場合には、論理的には、(1) から (6) までの 6 通りの並べ方があるはずである。

(2) *その答え、合っているわねよ。

(3) *その答え、合っているよわね。

(4) *その答え、合っているよねわ。

(5) *その答え、合っているねよわ。

(6) *その答え、合っているねわよ。

しかし、実際に許される助詞の組み合わせは (1) だけである。

助詞が 2 つ 現れた場合でも、文末での助詞の相対的な位置は固定される。終助詞の

「よ」「ね」が文末に 現れた場合には、この順序で終助詞が 現れなければならない。

(7) その答え、合っているよね。

(8) *その答え、合っているねよ。

他の組み合わせ（「わ」と「ね」，「わ」と「よ」）でも同じように順序が固定される。

(9) その答え，合っているわね。

(10) *その答え，合っているねわ。

(11) その答え，合っているわよ。

(12) *その答え，合っているよわ。

終助詞「わ」「よ」「ね」はそれぞれ独立の意味をもつ要素として働き，文末に 1 つ

現れても，2 つ現れても，3 つ現れてもよい。しかし，これらの 3 つの終助詞は，

語順が比較的自由である（あるいはそのように見える）話し言葉で使用されるのにもか

かわらず，複数現れた場合，「わ → よ → ね」という順序で並べなければならないと

いう厳密な規則があてはまる。おもしろいことに，順序の規則に反する終助詞の並べ

方をした文は，話者がなにを意図して言っているのかがまったくわからない非文となつてしまう。
